

閉 会 挨拶

日本政策金融公庫総合研究所長 武士俣 友生

総合研究所長の武士俣でございます。ひと言ご挨拶申し上げたいと思います。

本日は大変多くの方にお越しいただき、誠にありがとうございます。また、本日ご登壇いただきました皆様からは大変貴重な話をお聞きでき、多くのことを学ばせていただきました。

第1部の基調講演にご登壇いただいた樋口先生ですが、政府の労働政策審議会の会長や働き方改革実現会議の委員を務めていらっしゃいます。日本の労働経済学といえば、第一人者は樋口先生であり、私どもの中小企業研究は労働経済の分野と重なるところが多いため、日ごろからご指導をいただいております。併せて御礼を申し上げます。

また、第3部のパネルディスカッションでは、3社の経営者の皆様からお話をお伺いできました。それぞれ違うアプローチで外国人雇用に貢献されており、楽しい工夫や、赤原社長がお話されていた、特に工夫をしないことも重要ということも含め、会場の皆様も新しい発見があったのではないかと考えております。ディスカッションに参加いただいた皆様に、心から感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

私どもの日本政策金融公庫総合研究所は、中小企業専門のシンクタンクとして平成20年10月に発足

し、現在9年が経過いたしました。このシンポジウムも今年で9回目を迎えましたが、毎年できる限りタイムリーなテーマを取り上げて、私どもの研究成果を報告させていただいております。

来年は10周年ですので、今から興味深いテーマを見つめるべく頑張ってお参ります。よろしければ来年もぜひご来場いただければと思います。

最後になりますが、ご来場の皆様には、ご多忙の中お運びいただきまして、誠にありがとうございました。今後も引き続き日本政策金融公庫ならびに総合研究所に対し、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。閉会のご挨拶とさせていただきます。

